

平成24年4月発売!

久留米交配 「 グリーンスカイ 」

- ★ズッキーニ黄斑モザイクウイルス (ZYMV) 抵抗性品種。
- ★枝の発生力、肥大力があるので、作り易さ抜群。
- ★果色・光沢に優れ、果形のまとまり抜群。
- ★うどんこ病・タンソ病の発生が極めて少ない。
- ★小葉系で、受光態勢良く、スッキリした草姿。



【 特 性 】

□ 雌花率

- 4～5月播き－主枝 50～60%
子枝 70～80%
- 6～7月播き－主枝 40～50%
子枝 60～70%

□ 草姿

- 主枝－茎は中太～太で節間は中位。
伸長性があり、生育は早い。
- 子枝－各節より中短～中位の中太枝が順次発生する。
- 孫枝－全体的に力強い枝が、良く発生する。
- 葉－濃緑色の角型で中葉。
立性が有り、受光態勢に優れる。

□ 果実

- 果長－100～120gで21～22cm位。
- 果形－肩から尻まで肉づきが良く、
果揃いにまとまりのある円筒形果。
- 果色－濃緑色で条線等の発生はなく、高温期でも退色なく、光沢にも優れる。

□ 収量性

- 果実肥大が良く、雌花連続も高いので初期より収量が多い。枝の発生力があり、栄養成長と生殖成長のバランスがとり易く、悪条件下でも山谷の少ない多収型品種。

【 栽 培 】

□ 作型

- 普通露地～露地抑制栽培に適する。

□ 栽培上の注意点

- ・着果が良く、肥大も早いので、活着をスムーズにさせ、素直な生育をさせる。
- ・下位5節(畦上30cm)までは、雌雄花・子枝を早めに除去する。活着不良や草勢が弱い場合、10節位までの雌花を早めに除去する。
- ・追肥は主枝雌花が開花肥大し始めを目安に10a当りN成分で0.5～1kg行い、その後は果実肥大が早いので、遅れないように早め、早めに行う。
- ・枝の摘芯については、子枝は、基本的には1～2節摘芯。草勢が弱い場合は子枝を1本伸ばし草勢の確保を行う。孫枝以降は半放任とするが、組み合わせ適宜摘芯する。草勢を見ながら摘み過ぎ、摘み遅れしない様に注意する。
- ・ZYMVには抵抗性だが、他のウイルスには感染するので、病虫害防除は予防を中心とし、初期防除に努める。

※ 若干ギザ葉株の発生があるので、定植時よく観察し、定植しないようにご注意ください。